



消防職員が熱い想いを言葉に乗せて発表！  
第49回新潟県消防職員意見発表会を新潟市で開催！

2月6日（金）に、新潟県消防長会（事務局 新潟市消防局企画人事課）の主催により第49回新潟県消防職員意見発表会が開催されます。

本発表会は、消防業務の諸問題に関するより一層の知識の研さんや意識の高揚を図ることを目的として、県内各地区から推薦された消防職員が、業務に対する提言や取組むべき課題等について自由に発表するものです。

最優秀賞受賞者は、4月24日（金）福島市において開催される、全国消防長会東北支部消防職員意見発表会に出場します。

新潟市消防局からは中央消防署 大平 紘史（おおだいら ひろし）消防士長が代表として出場します。

つきましては、本発表会を取材のうえ、広く広報していただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。



※令和6年度発表会

記

1 日 時 令和8年2月6日（金）午後2時15分から午後4時05分まで  
(成績発表は、午後3時50分頃から)

2 場 所 新潟市消防局 3階「講堂」  
新潟市中央区鐘木257番地1

3 発表者等 別紙のとおり

4 その他 取材いただける場合は2月5日（木）まで、下記担当あてご連絡くださいますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

新潟市消防局企画人事課企画係

担当 那須

電話 025-288-3210（直通）

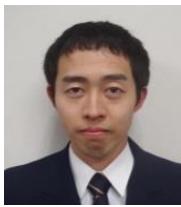
## 消防職員意見発表者及びテーマ

順番	所属 消防本部	階 級	氏 名	テーマ 及び 要 旨
1	糸魚川市消防本部	消防副士長	上谷 紘一	《 保育園における避難の協力体制について 》 保育園と民間企業との間で避難協力体制を確立し、子どもたちが安心、安全に暮らせる災害に強い街づくりを目指します。
2	南魚沼市消防本部	消防副士長	笹岡 千夏	《 女性消防吏員の定着化に向けて 》 女性消防吏員が離職し、定着化が進まない現状を改善するため、インターネットを活用した意見交換の場を提案します。
3	新潟市消防局	消防士長	大平 紘史	《 応急手当を、より身近な存在に 》 応急手当の更なる普及を目指して、小学校で配布されるタブレットに注目しました。 家庭の中から、家族への普及を目指します。
4	阿賀町消防本部	消防士長	加藤 成	《 男性職員の育休取得に寄せて 》 男性が育休を取得しやすい環境整備の1つに、業務をフォローする職員に対して手当を支給する制度を提案します。
5	阿賀野市消防本部	消防副士長	野崎 駿兵	《 育てようアップスタンダー 》 自身の取組みを通じて、勇気を持って初期消火を行う市民をアップスタンダーとして位置づけて普及させたいと考えます。
6	燕・弥彦総合事務組合消防本部	消防士長	田中 雅大	《 共に成長していく教育 》 教育の本質である日常の指導と声掛けで若手を育て、自らも成長し、現場で力を発揮する、組織を支える中堅職員でありたい。
7	佐渡市消防本部	消防副士長	市橋 遼一	《 消防から発信するキャリア教育 》 教員経験を活かし消防が教育現場へ。実体験型防災教育で子どもに命を守る力と地域で働く誇りを育み、地域防災の未来を切り拓く
8	三条市消防本部	消防士長	熊倉 順朗	《 予防救急～家族と話そう週間（習慣）～ 》 自身の過去の経験をもとに、家族と予防救急について話す機会を習慣化し、大切な家族の「もしも」に備える取組を提案します
9	長岡市消防本部	消防士	平岩 天翔	《 「いざ」を成功させる見えない努力 》 「準備8割、実行2割」を軸に、市民の戸惑いを具体的な防災行動へ導く、仕組みづくりの重要性を考えたものです。
10	新発田地域広域事務組合消防本部	消防副士長	須戸 吉隆	《 Let's ポイ活 FIRE マイル 》 消防団の本当の価値を常備消防の視点から問い直し、地域と未来を守るための新たな仕組みを提案します。

# 意見発表者プロフィール

## 1 消防副士長 上谷 弘一

(糸魚川市消防本部)



平成26年に消防士を拝命し、11年目を迎え、責任感旺盛で先輩、後輩からの信頼も厚い職員です。

現在は予防課で防火対象物の立入検査や消防用設備の審査業務に従事しながら、救急隊員としても現場で活躍しています。3児の父でもあり、仕事に家庭に一生懸命取り組む将来有望な職員です。

## 2 消防副士長 笹岡 千夏

(南魚沼市消防本部)



平成28年に消防士を拝命し、救急隊と消防隊を兼務しながら、令和6年4月に救急救命士の資格を取得しました。

現在は、救急副分隊長として救急活動の中心的役割を担い、救急隊員の指導教育に情熱を注ぐ一方、大型水槽付きポンプ車機関員の重責を受け持ち、消防隊員としての活躍も素晴らしい将来を嘱望される職員です。

## 3 消防士長 大平 紘史

(新潟市消防局)



明るい性格で何事にも前向きで責任感が強い職員で、現在、救急隊で救急救命士として隊長を補佐しながら、後輩職員を育成指導しています。職場では、若さを生かしムードメーカーで頼れる消防士長として将来を嘱望されています。

## 4 消防士長 加藤 成

(阿賀町消防本部)



平成26年4月に消防士を拝命し、現在は消防団係主任として消防団業務に精力的に取り組み、災害現場では救急救命士として救急現場の最前線で活躍しています。職務に対する真面目な姿勢は誰からも信頼が厚く将来を嘱望されています。また、家庭では二児の母として公私共に日々充実した毎日を送っています。

## 5 消防副士長 野崎 駿兵

(阿賀野市消防本部)



平成27年に消防士を拝命、現在は予防課員として堅実かつ積極的な仕事ぶりで上司や同僚から厚い信頼を寄せられています。救助隊員としても災害現場の最前線で人命救助を行っており、そのための知識や技術、体力の鍛磨に熱心に取り組んでいます。プライベートでも筋トレに通う頼もしい職員です。

## 6 消防士長 田中 雅大

(燕・弥彦総合事務組合消防本部)



平成28年に消防士を拝命し、現在まで救助隊、消防隊、救急隊といった様々な現場の第一線で活躍しています。また、積極的な性格から、消防業務における研修訓練等に自己研鑽を積む姿は、上司や部下の誰もが認めるところであり、住民に信頼と安心を与えることできる職員です。

## 7 消防副士長 市橋 遼一

(佐渡市消防本部)



平成30年に消防士を拝命し、現在では中央消防署の警防係員として警防業務を中心に積極的に取り組み、災害現場では救助隊、消火隊、救急隊として第一線で活躍しています。

何事にも前向きに取り組むその姿は、同僚、上司から厚い信頼を寄せられ、将来有望な職員です。

## 8 消防士長 熊倉 卓朗

(三条市消防本部)



平成26年に消防士を拝命し、令和5年には救急救命士の資格を取得。現在は下田分署救急隊に所属し、野球で鍛えた精神力を糧に救急現場の最前線で日々奮闘しています。プライベートでは家族とスポーツ観戦や旅行を楽しむなど、温かい一面を持っており、上司や同僚からの信頼も厚い、将来を期待される職員です。

## 9 消防士 平岩 天翔

(長岡市消防本部)



平成31年に消防士を拝命し、現在は救助隊として積極的に訓練、自己鍛錬に励んでいます。その何事にも真摯に向き合う姿勢は、同僚や若手職員の良き模範となっています。

市民に対して常に誠実かつ公正に接し、業務に対して責任感が強く、上司からの信頼も厚い将来を嘱望された職員です。

## 10 消防副士長 須戸 吉隆

(新発田地域広域事務組合消防本部)



平成28年に消防士を拝命、現在は消防隊、救急隊、山岳救助隊として災害対応に当たっています。また、後輩の育成に力を入れており、業務に実直に向き合う姿勢は、後輩職員の良い模範であり、今後の活躍が期待される職員です。